

東山梨支部の活動状況

東山梨支部 事務局 高野優子

東山梨支部は、二年間の設立準備期間をかけ平成八年度に設立、その後、市町村合併にともない旧春日居町在住会員が自動的に笛吹支部（当時八代支部）へと移動しましたが、現在も百五十名余りの支部会員からなる甲府支部に次いだ大きな支部のひとつとして活動しております。

設立当初は、百名余りの会員の連携を図るとともに、通知等にかかる運営費の削減を目的に各理事が地域ごとに十名ほどを担当し、通知の手渡しや連絡網を使つての電話連絡を行ない、会員相互のつながりを深め少しずつ活動が動き始

めていましたが、個人情報保護法にともない会員名簿の作成が中止となり、会員への連絡が取りづらくなるとともに在住の地域にどんな種類の有資格者がいるのか会員同士もわかりずらいものとなり、大きな支部としては、スムーズな運営が望みにくくなっております。

その様な状況ではありませんが、支部として毎年十一月頃には、甲府支部笛吹支部と合同で支部を超えた交流の中で研修会を実施するとともに、支部独自でも

「山に登ってみませんか」



山岳の指導について

峡東地域におけるスポーツについてやトレーニング法、救急法などの研修会を開催、平成二十年三月には、日頃の研修会では、ゆつくりと会員の間で話し合う時間が取れないという意見を受け、会員を代表し山岳指導員として活躍されている近藤孝久さんに四川省の山に登った時の美しくあるが、高く険しい山々へ登っていく過程をスクリーンで見せていただきながら「山岳を通して中高年に夢を」と題し山岳の指導者としての様子を講演していただき、その後、各自の指導状況について話し合いました。

指導方法や競技人口の減少、少子化、子どもの生活、食事面までの指導についてなど種目、年齢によってかかえる問題点などが出され、終了後にも引き続き、支部より、日本体育協会公認スポーツ指導者表彰を受賞なさった鮎澤房枝さんを囲んだささやかな懇親会をするなかでゆつくりと話す機会をもつことが出来ました。

また、平成二十一年五月には、甲州市において福岡県の大川市と運動やスポーツを日常化していくためのきっかけづくりのイベントとして、決められた一日の間に十五分以上スポーツ運動を継続した参加者を競う「甲州市チャレンジデー」が開催されましたので地域においてスポーツ愛好者の一人として参加するとともに公認指導者の認知度を上げる事ができればと、甲州市民体育館に集まった親子の参加者に対し、日本体育協会公認の有資格者という立場でストレッチとエアロビクスを指導させていただきました。



甲州市チャレンジデーにて「生活の中にスポーツを」

今後とも地域のイベントに積極的に参加することで公認スポーツ指導者について認知していただくとともに、支部を設立した目的のひとつである「東山梨地区のスポーツ普及、発展に寄与する」という目的を達成することが出来ていけばと思います。

地域スポーツのためにまた、地域住民の健康づくりのために今後も多くの会員が連携し協力することが必要と思います。各自、忙しく活躍のことと思いますが支部活動に多くのご理解とご協力を今後もお願い致します。

もっと、この「指導者協議会」を発展させたい

これは、理事会（二十一年十月二十八日）の時のご意見、ご希望などをまとめたもの。

1 理事の数や選出団体について

・理事会での出席率を上げる。

・選出団体の代表としての意識をもつて。

・理事の数は現状でよい。

・選出団体、支部についてはこのまま。ただし競技団体のいくつかは、もちまわりでも。（二年ごととか）

・理事の欠席について、その理由は、支部は一名でもよいのでは。

・小中体連は、この組織から考えて、理事でなくてもよいのでは。

・活動促進部は課題が多く時間不足。

2 専門部組織について

・活動促進部は課題が多く時間不足。

・指導者の連携を。理事会が長い間「報告云々」になっっている協議の場にならな

・理事全体での協議をした

い。

・部会の内容に重複がある省略できないか。

・何年たつても、同じ話し合いのくり返し。進歩がみられない。

・専門部による審議は大変よい

・「表彰」について、小中体連での審議は考えられない。（考えなくてもよいのでは）

3 その他

・担当者？

・支部の充実を考えて理事数の検討を。

・体育連盟と専門委員長の関係は。

4 魅力ある会にするために

・指導者は何を考えているのか。

・指導者の連携を。

・理事会が長い間「報告云々」になっっている協議の場にならな

・有資格者の存在感の広めを。

・時には理事会が懇談会であつてもよいのでは。

・峡南支部のように「登山」や「ウォーキング」をとり入れることがあつてもよい。

5 期待

・協議会の意義を考えて指導者をまとめるためか、指導者活用が目的をはっきりさせるように。

・協議会への参加登録の意義を考えたい。

・全体が一つのことについて話し合い解決するような会も。（報告会に終わらない）

・会員相互の話し合いの場を、交流の場を。（レクでもよい）

6 その他

・支部の充実を。

・県研修会のあり方の検討を。

・活動が低調な支部への協力を。

・幅広く協議団体相互の連

携を。

・専門部組織で皆さんの意見がきけるように。

・全体会の、会議のすすめ

方の検討を。

・前回の課題、結果がわかるように。



山梨県スポーツ指導者

研修会に参加して

守屋 絢子

過日、山梨県スポーツ指導者研修会が開催され、

「スポーツ選手の食事・栄養管理」「救急法」について

の講演が行われた。高等学校で保健体育の教員をして

いる私にとって、どちらの講演も再認識の機会となり、勉強させていただいた。

まず、山下先生の講義を聞き、スポーツ選手の体を作る上で欠かせない食事の重要性を改めて考えさせられた。ヴァンフォーレの選手が食事の改善により、パフォーマンスが向上したという話が特に印象に残っている。スポーツ選手にとつて栄養管理により体を作る

ことは、体力の向上だけでなく、熱中症の予防にもつながり、大変重要なことである。これからは、自分自身も栄養管理について深く学んでいきたい。

次の救急法の講義では、私達が出来た応急処置が、どれだけ人の命を救えるのかということを考えさせられた。同時に、AEDの普及が、公共の施設だけでなく、店や一般企業にも必要であると感じた。

今回受けた講義の内容を自分自身でも深め、現場の生徒達にも伝えていきたい。

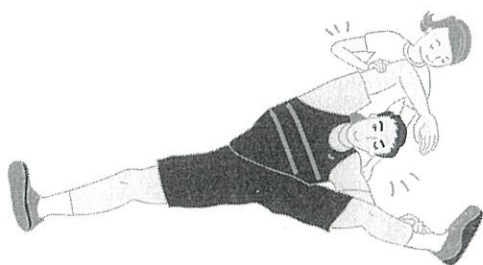


スポーツの底辺拡大をしていく
為にはどのような工夫が必要か

日 原 康 治

自分の健康維持と家族の食事のバランスなどスポーツ指導者としても一度再確認が大切だと思います。スポーツ指導者としての認識を深め又地域においても研修会など年一回は必ず開催しスポーツ指導者としての責任が大切な役割だと思います。資格を取得して於けばあらゆる有事に対処出来る事も充分考えられますので修得する事をお勧め致します。尚近年父母の間でもスポーツをしているがなかなか上達しないなどの声を耳にします。これはだれの責任なのか、指導者どのようにに指導していけば良いかの課題を研修会に参加しぜひ身に付けて頂きたいと思えます。自分の指導方法と他の先生方とどこがちがうかをマスターすること

が非常に大切な役目だと考えます。色々な指導法は有ると思いますがまず指導者が童心に返り子供の心をつかむ事が大切だと思います。良き指導者として地域の方々に好かれ又頼られる指導者になる事だと感じます。これを機にぜひスポーツ指導者研修会に参加する事を希望します。



いつかはタバヤセよう

田 邊 友 宏

今回の研修会のテーマは食事である。近くて奥深い故にだいたいにしてしまう愚かさを繰り返すテーマである。

この研修で栄養の事やサプリメントや水分摂取の方法など、解り易い説明は志半ばの私の減量に大きな知恵となった。

勝負の世界では食を制する者は冠に近い。食を軽んずる者は術をも害し精神的にも不安定で集中力を欠き、最後の底力を発揮できない。もう一步もう少し早ければと反省の弁は意外と食事と直結している。

良き食事良き運動良き睡眠が健康の源泉である。小さな継続が大きな腹をへこませ十五キロ減り血圧もほぼ正常に戻る。私の挑戦はまだ糖分続いて、山下先生に感謝！

私は高血圧で数年前は体調を崩し健康のありがたさを実感した。原因は永い間の生活習慣である。禁煙に始まり減塩や幾つか体にい事は試すも改善無し。忠告もあり一念発起、「減量しかない」目標を月一キロと決める。簡単そうだがかなりきつい自制が必要、腹八分でゆっくり噛む事！



あなたの会費が
組織を支えています

本協議会は、県内におけるスポーツ指導者の資質向上と相互連携を図り、県民スポーツの普及・発展を目的に、指導者の組織的指導体制の確立、各種研修会・講習会の開催、広報誌の発刊などの活動を行っています。

日本体育協会公認スポーツ指導員の皆様には、本協議会の会員になっていただいております。冒頭にも述べたとおり本協議会は、指導者組織体制の確立、各種研修会の開催などの活動を行っております。

このような活動の中、会員の皆様へは、スポーツ指導者の情報を掲載した会報の送付や、更新義務研修会になる「スポーツ指導者研修会」の案内の送付など情報の提供をいたしております。

つきましては、是非、公認スポーツ指導者の皆様には、本協議会の趣旨、活動内容をご理解いただき、各研修会への参加並びに、「会費の納入」につきましてご協力いただきますようお願いいたします。

活動促進部の今後の検討事業

活動促進部 半 田 昌 一

各地域、各競技団体における競技者育成プログラムを作成するにあたり、情報の提供について検討にはいる。

人間の形態やその機能は、子どもから成人へと成長するにつれて、著しく変化していく。そこで小学生や中学生の段階から競技者と

問題の一つとなっている。早期の専門化を促す要因の一つとして、多くのスポーツが学校を中心に展開されており、中学、高校、大学と指導者が替わっていくことがあげられる。「自分の指導している間に勝たせた」といっているのは指導者の心理であり、これが早期専門化を招いていることが多

い。このような我が県の現状では、一人の指導者が継続した指導をするという一

貫性を求めることは極めて難しい。そこで重視されるのは、各学校段階の指導者が「一貫性」の考え方を重視し、それぞれの段階において、やるべきことを確実に実施していくことで長期計画を遂行するように今後検討をおこなう必要がある。

また、スポーツ指導者バンク事業については、国の平成元年度新規事業として、各種スポーツ指導者の

発掘、登録、有効活用を目的として、「スポーツ・リーダーバンク事業」が発足したが、県民のニーズに対応できる各指導者の活用ができていない状況である。指導者派遣制度においても、今後検討事業として進めていくことが求められる。

活動促進部会 現在の活動及び検討状況

活動促進部 村 松 敏 子

資質向上班

- ①各支部県外各競技団体（義務）研修会の内容精選
- ②研修派遣指導者（講師）選出
- ③表彰制度の確立

①について

すでに実施している各支

部、県外各競技団体研修制度の情報を収集し予算とも検討し、問い合わせのあった場合に本会の方向性、実施方法を回答できるようにする。

②研修会募集等してあった場合に派遣講師の情報を提供できるように優良指導者リスト作成を行う

各支部競技団体等にアンケート調査をしそれに基づき医・科学委員会にご協力をいただき内容と講師の選出を進める。

実施している支部のデータ
競技団体のデータ
県外の場合のデータ

③表彰制度の確立
表彰制度を調査、検討し本会に適した表彰制度の作成

全国スポーツ指導者表彰規定、県体育協会表彰規定等検討する中、幾数回の見直しをし、県の有資格指導者の方々に（なるべく多くの方々）受彰していただくよう内容の検討を重ね十月二十八日理事会に於いて承認されました。

五月の総会時には皆様方

の承認をいただき施行の方向へと考えております。次回からは活用班が

- ①各地域、各競技団体における競技者育成プログラムの情報収集
- ②各支部、各競技団体の指導者バンク
- ③指導者派遣制度

について検討していきま

公認スポーツ指導者表彰を受賞して



公認スポーツ指導者表彰を受賞して

渡 邊 悟

(陸上・上級コーチ)

平成二十一年度表彰を受賞することができ、関係者の皆さんには心より感謝とお礼を申し上げます。

昭和四十六年に教職について以来、陸上競技を通して小中高生に指導をしてきた。第四十一回山梨国体開催で県選手強化本部の一員として任につく機会にめぐまれた。天皇杯、皇后杯獲得に向けて各競技団体と組織作り、選手強化のあり方等について多くの情報を得ることができた。特に強化推進等で日ごろ経験できない一流指導者や選手の勝利への熱き情熱を直接肌で感じることができ、自分自身の指導者としての糧となっている。

現在は県陸上競技協会や南都留地区の指導者協議会を通してスポーツ振興を進めている。また、生涯スポーツの視点から富士吉田総合型地域スポーツクラブ「FLAGS」の立ち上げから携わり現在、小学生、保護者を対象として、限られた競技だけでなく様々なスポーツを経験させ将来の生活がスポーツ活動を中心としたものになることや、より自分に合ったスポーツを選択できる能力をつけることを最重点とした指導内容で活動をすすめている。今後多くのスポーツ活動は少子化、指導者の高齢化、財源問題等やスポーツに対する価値観の多様化がさらに進行する中でより創造的で付加価値のあるスポーツ活動の企画が望まれている。今回の受賞を機にさらにスポーツ振興に努めていきます。



公認スポーツ指導者表彰を受賞して

赤 池 久美子

(なぎなた指導者)

平成二十一年十二月十二日、東京「グランドプリンスホテル赤坂」において、公認スポーツ指導者表彰の栄に浴し恐縮している。

ご推薦いただきました関係各方面の皆様方のご支援のおかげに、心より感謝申しあげたい。

思えば、昭和六十一年に、山梨で「かいじ」国体が開催されることになり、はからずもなぎなた国体選手の強化養成の任を担うこととなった。約五年間、選手候補者を中心に、関東・関西各地の指導者の方々のご指導をいただきながら、国体への歩みを続けた。

幸いにも、成人の部で優勝することができた。

国体終了後、なぎなた指導は、少年時代からの育成の必要性を考え、スポーツ少年団の結成と、近隣の高校に、部活動として「なぎなた部」の設営にあたった。

この過程の中で、公認スポーツ指導者の資格の必要を思い、受験し、その資格をいただき、指導につとめてきた。

指導では、技術の向上は、当然だが、特に子どもたちの心情の育成も指導者には大切なことを、体験することができた。

また、今の私の年齢から考え、若い世代の方々の協力と研修を、お願いしたいと感じている。

さらに、将来的に考え、学校・社会での体育指導でも、考慮し取り組んでほしいと思う。

身心の健全が、人間として大切だと理解していても、実践の場では、おろそかになりがちである。私もこの受賞を機に、先輩の築いてきた成果に学び、改めて自覚し、行動したいと思っている。



公認スポーツ指導者表彰を受賞して

花 村 弘 子

(バレー上級指導員)

私は、公認指導者としてスポーツ少年団にかかわり、今年で三十一年目を迎えました。バレーボールの楽しさ、技術の大切さを子供たちに、教えてきました。

またスポーツを通して、縦のつながりの大切さや友達を思いやる気持ちが育っているか、を確認しながら指導してきました。スポーツの技術面としては、「言ってみせ、やってみせて、褒めてやれば人は動く」をモットーに指導を実践してきました。またバレーボールを通して、スポーツの楽しさを知り、同じ目標にむかって、皆で努力する事の大切さ、そこから生まれる連帯感を得ることにより、子供たちが成長するように、導いてきました。

その人の立場により教えられるか、子供達が何を求めているのか、といろいろな課題ばかりですが、「子供達に最後まで、しっかりと理解する習慣を身につけさせる事やくり返し確認する事の大切さ」を指導できればと思っています。

今回のスポーツ指導者表彰では、全国からの参加者の見守るなか、受賞ができ、その感激に胸が熱くなるのを憶えました。

最後に受賞に際し県体育協会をはじめ、各関係者の方々に深く感謝いたします。



公認スポーツ指導者表彰を受賞して

繪 上 久 子

(ソフトテニス上級指導員)

この度は、協議会の皆様方のご支援により、栄誉のある表彰を頂き心より感謝申し上げます。

子供の頃から体が小さいハンデのあった私はスポーツが苦手でしたが育児に追われる中、甲府市主催ママさんソフトテニス教室に参加、スポーツがこんなにも楽しく友達とも慣れる事を実感し、もっと沢山のママさんに親しんで欲しい思いで、昭和五十二年に指導者資格を取得、以来、ママさん教室、早朝中学生教室の指導に参加させて戴き平成十二年からは、ジュニア対象の指導育成、総合型スポーツクラブへの指導参加に至っています。

スポーツ苦手が大好きになった主婦、勉強と両立させ乍ら受験の不安に踏ん張っている中学生、遊びが中心に楽しんでいたジュニアがもっと上手になりたいと欲が出てくるようになるのを見るにつけ、指導を続けて良かったと同時に責任の重大さを感じています。

これからも研修会、講演会には進んで参加をし多様な競技からの情報にアンテナを張り続け、先輩のご指導には欲張って受けたいと思います。

全国研修会には、専門分野からの講演、ディスクッション等に「そうだったのか」と納得。日頃の疑問には「目から鱗」と嬉しくなり明日から直ぐに活用しようと思えました。これからも、自身の健康を保ち乍ら、スポーツで汗を流す喜びを知り、その日が待ち遠しく、楽しく参加してくれるよう、私が勉強し乍ら継続してゆきます。

受賞会場では会長様始め皆様方のお気遣いを戴き厚く御礼申し上げます。

平成二十一年度事業報告

平成二十二年度事業計画(案)

期 日	会議の名称等	会 場 等
平成二十一年 四月 四日(土)	・山梨県スポーツ少年団フェスティバルへの協力	小瀬スポーツ公園
四月二十二日(水)	・山梨県スポーツ指導者協議会 第一回理事会	小瀬スポーツ公園 武道館会議室①
五月 十五日(金)	・平成二十年度 会計監査	小瀬スポーツ公園 管理棟会議室
五月二十三日(土)	・平成二十一年度山梨県スポーツ指導者協議会総会・研修会	小瀬スポーツ公園 武道館
六月 十七日(水)	・山梨県スポーツ指導者協議会 第二回理事会	小瀬スポーツ公園 武道館会議室①
六月二十六日(金) 〜二十七日(土)	・平成二十一年度第一回全国スポーツ指導者連絡会議・関東ブロック会議	埼玉県「さいたま 共済会館」
十月二十八日(水)	・山梨県スポーツ指導者協議会 第三回理事会	小瀬スポーツ公園 武道館会議室①
十二月十一日(金)	・平成二十一年度第二回全国スポーツ指導者連絡会議	東京都「日本体育 協会地下3階講堂」
十二月十二日(土)	・平成二十一年度公認スポーツ指導者等表彰・全国研修会	東京都「グラントプ リンスホテル赤坂」
平成二十二年 二月 十七日(水)	・山梨県スポーツ指導者協議会 第四回理事会	小瀬スポーツ公園 武道館会議室①
三月三十一日(水)	・会報第二十号発刊	

期 日	会議の名称等	会 場 等
平成二十二年 四月 三日(土)	・山梨県スポーツ少年団フェスティバルへの協力	小瀬スポーツ公園
四月二十八日(水)	・山梨県スポーツ指導者協議会 第一回理事会	小瀬スポーツ公園 武道館会議室①
五月初旬	・平成二十一年度 会計監査	小瀬スポーツ公園 管理棟会議室
五月二十九日(土)	・平成二十二年度山梨県スポーツ指導者協議会総会・研修会	小瀬スポーツ公園 武道館
六月 十六日(水)	・山梨県スポーツ指導者協議会 第二回理事会	小瀬スポーツ公園 武道館会議室①
六月二十五日(金) 〜二十六日(土)	・平成二十二年度第一回全国スポーツ指導者連絡会議・関東ブロック会議	群馬県「高崎ワシ ントンホテル」
十月 二十日(水)	・山梨県スポーツ指導者協議会 第三回理事会	小瀬スポーツ公園 武道館会議室①
十二月 十日(金)	・平成二十二年度第二回全国スポーツ指導者連絡会議	東京都「日本体育 協会地下3階講堂」
十二月十一日(土)	・平成二十二年度公認スポーツ指導者等表彰・全国研修会	東京都「グラントプ リンスホテル赤坂」
平成二十三年 二月 十六日(水)	・山梨県スポーツ指導者協議会 第四回理事会	小瀬スポーツ公園 武道館会議室①
三月三十一日(木)	・会報第二十一号発刊	

あ
と
が
き

「日本体育協会公認」の重みを胸に、①ホームページに参画する②支部活動に汗を流す。これらのことに、さらに眼を開きたいものです。
スポーツ好きの地域の皆さんは、表でも、かげでも期待してくれております。

編集：広報普及部

発行先

山梨県スポーツ指導者協議会
事務局

〒400-0836 山梨県甲府市小瀬町840

(財)山梨県体育協会内

TEL 055-243-8588 / FAX 055-243-8599